

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 4	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Relationship among alcohol, body weight, and cardiovascular risk factors in 27,030 Korean men. 27,030 人の韓国人男性におけるアルコール、体重、循環器疾患危険因子の関係	
執筆者	
Sung KC, Kim SH, Reaven GM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetes Care. 2007 Oct;30(10):2690-4.	
キーワード	
アルコール、体重、循環器疾患危険因子	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>最近の研究で中等度飲酒者では過体重/肥満のリスクが低いという報告がされている。しかし、このことについての妥当性と、一般的に飲酒は循環器疾患に対し効用があると考えられているものの循環器疾患のリスクに対しどのように関係しているかということはまだよく評価されていない。</p> <p>方法：</p> <p>韓国の都市大病院において、他に重大な疾患もなく服薬もしていない 27030 人の健康な韓国人男性を対象に、飲酒と循環器疾患の危険因子（血圧、脂質、血糖、インスリン値）の關係に BMI がどのように影響しているかを検討した。</p> <p>結果：</p> <p>飲酒量が増えるほど BMI と過体重の有病率は線形に増加した（<math>p</math> 値<math>&lt;0.001</math>）。飲酒量が増えるにつれ血圧、中性脂肪、HDL、空腹時血糖は上昇し（<math>p</math> 値<math>&lt;0.001</math>）、LDL、インスリン値は低下した（<math>p</math> 値<math>&lt;0.001</math>）。飲酒歴のない人を対照とした場合、年齢、BMI、喫煙、運動を調整したインスリンが 4 分位の最高位であることに対するオッズ比は、飲酒量が増えるに従い線形に減少した。一日 40 グラム以上飲酒する人では、オッズ比は 0.71（95%信頼区間:0.62-0.82）（<math>p</math> 値<math>&lt;0.001</math>）であった。</p> <p>結論：</p> <p>BMI の増加、空腹時血糖の上昇を含む種々の代謝異常と飲酒の間には関連がみられた。これと反することであるが、インスリン低値と飲酒の間にも関連がみられた。これらの結果に臨床的にどのような意義があるかについては今後の検討課題である。</p>	